

特集

# 今日から始める ごみの減量

## 大作戦!

お問い合わせ

環境課環境係

☎ 43-7049

各家庭から出される「燃やせるごみ」の約半分は水分。ごみに含まれる水分を減らすことは、ごみの減量に大きな効果をもたらします。家庭で簡単に出来るごみの減量方法を考えてみましょう。

### チャレンジNo.1

## 水切り編



日常の調理の中から発生する調理くずや残飯などの水切りを行うと、どれくらいの減量効果があるのでしょうか。野菜の調理くずで実験してみました。左の写真は、水切り前の調理くずで、重さは235g。



水切りネットに入れて、勢い良くギューツとひと絞りすると、水切り後の重さは152g。たった一回の水切りでも、83gの減量効果がありました。ほんの一手間、水切りをしてから捨てるのも効果あり、ですね。



### 水切り効果を検証

一人ひとりが1日20gの水切りを行うと、一年間で約600tものごみの減量が可能になります。

また、生ごみが腐敗し、悪臭を放つ主な原因は水分ですので、水切りをすることで抑えることが出来ます。



### ワンポイント・アドバイス

野菜などを調理するとき、洗う前にあらかじめ不要な部分を取り除き、直接ごみ袋に入れると、余分な水分を吸収することなく処理出来ます。

これだけでも、簡単にごみの減量化につながります。

大館クリーンセンターに運び込まれる大量の家庭ごみ